

学校法人佐久学園



No. 8

2018(平成30)年6月30日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 学園通信編集委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

# 佐久の薰風

## CONTENTS

- 学長挨拶・新入生… 2
- 新任教員紹介・国家試験受験報告… 3
- 卒業生・修了生・退職者紹介… 4
- 領域紹介(小児看護学)・台湾スタディツアー… 5
- Voice of Graduates… 5
- キャンパスピックアップ… 6・7
- 平成30年度講座・研修等のお知らせ… 7
- 佐久学園から… 8

# 入学に寄せて



佐久大学  
佐久大学信州短期大学部

学長 堀内 ふき

保健医療福祉・介護の学問は人との関係性を大事にする学問です。専門的な知識を身に着ける前に、自律した人間であること、幅広い、バランスのとれた、大きな器であることが、求められていることを心に刻んでください。このような人間を目指すためには、多くの書籍に触れること、友人や教員、地域の人々との交流や体験、意見交換等が大変意味のあることです。

本学は、地域医療の歴史のある佐久という地にできた大学であることを大切に、行政や保健医療福祉の諸機関と連携して活動しています。学生は、この地域連携の中で、地域の人々に育てられているということを実感して学んでくれるものと思います。

私たち教職員は、学生の皆さんの力を信じて寄り添い、皆さんの夢が実現できるよう、一緒に学び続けていきたいと願っております。

# 新入生 大学に入学して



大学院看護学研究科  
川村 汐里

1期生としてプライマリケア看護コースへ入学し、一から基礎をより深く学んでいます。臨床での疑問や気づきなどの経験を様々な理論に当てはめ、仲間とともにディスカッションすることで、多くの学びを吸収し刺激的な毎日を送っています。今後は、より広い医療現場で活躍できるNPになるため自己研鑽して参ります。



看護学部  
北原 琉次

入学して1か月経ち、少しずつ学校生活に慣れてきました。高校生の時に想像していた大学生活とは違い、自主的な行動が大学では求められます。授業時間も90分と長くなり大変ですが、看護師になるという同じ目標を持った仲間達と、この佐久大学で学び、充実した4年間を過ごしていきたいです。



別科助産専攻  
秋山 朝海

看護師を4年経験した後、母校である佐久大学の別科助産専攻に入学しました。学びの一つ一つが臨床に繋がるという意識で勉学に励みつつ、未来に関わるであろう母子を想像し、胸をふくらませていきます。熱心な先生方のご指導のもと日々努力し、明るく前向きな13名の仲間と共に素敵な助産師になれるよう頑張ります。



信州短期大学部  
富澤 俊紀

入学して最初の頃は勉強や友人関係がうまくいくか心配でしたが、グループワークや実技などを行っていく中で、良い友人関係を築くことができました。講義の内容は専門的で難しい部分もありますが、充実しています。短大は2年間という短い時間しかないと忘れずに、毎日を過ごしていきたいです。

## 信州短期大学部 留学生3名が入学

信州短期大学部では留学生の受入れを昨年からは本格的に始め、今年度は3名の新入生を迎えました。3名は「日本の介護を学ぶ」という目的を持ち、大きな決意を胸に入学しました。日本の風習や文化を生活の中で体験する一方で、毎日難しい専門用語と戦っている留学生を教職員一同でサポートしていきます。



**劉栄(リュウ・エイ) FROM CHINA** (写真中央)  
日本の介護の知識を学び、将来は高齢化している中国に貢献したいと思っています。国境を超えた友人をつくることを目標にしています。

**チャンダナ・クマラ FROM SULIRANKA** (写真左)  
日本に来て3年です。初めて佐久市に来たとき、風景が母国と似ていて懐かしく感じました。この美しい町で生活や勉強など頑張りたいと思います。

**尤翔賦(ユウ・シャンフ) FROM TAIWAN** (写真右)  
2017年日本の介護研修団に参加した際、日本の介護力の高さに感動し、自分も、もっと介護の勉強がしたいと思い入学することを決意しました。

## プライマリケア看護コースがスタート



4月より大学院看護学研究科に「プライマリケア看護コース」を開設し、5名の入学生を迎えスタートしました。

プライマリケア看護コース(PCANコース)では、高い専門性と優れた看護実践能力をもち、プライマリケアを提供できる自律した看護師の養成を目指します。看護学研究科の共通科目等に特定行為研修が組み込まれる形になるので、必要な単位数は多く、週3日の講義の他、放送大学のオンライン授業も並行して受講します。講義内容や学修の進め方については、月1回行う教員・院生のミーティングで情報を交換したり、担当教員から助言を受けながら進めています。



## 新任教員紹介

①担当領域 ②出身地 ③出身校 ④趣味 ⑤自己PR  
2018年4月までに着任された先生方です



別科・大学院・看護学部 教授 **湯本 敦子**  
①助産学、母性看護学 ②長野県松本市 ③信州大学大学院人文科学研究科・メルボルン大学「女性の健康学」マスターコース ④温泉巡り、タイ古式整体を受けること ⑤8年ぶりに信州に戻ってまいりました。新鮮な空気が、吹き抜ける風、山々の景色に癒されています。



大学院・看護学部 教授 **佐藤 美由紀**  
①公衆衛生看護学 ②北海道 ③桜美林大学大学院老年学研究科 ④温泉めぐり、散歩 ⑤浅間山と八ヶ岳の景色や水田の脇に咲く野花を楽しみながら通勤しています。



大学院 客員教授 **田村 正徳**  
①プライマリケア看護コース ②愛媛県 ③東京大学医学部医学科 ④スキー、アスレチッククラブのcombat60 ⑤長野県立子ども病院周産期センターの立上げに関わり、医師人生で一番ストレスの少ない9年半でした。



看護学部 特任准教授 **中嶋 智子**  
①基盤（看護情報・医療情報）②神奈川県 ③東海大学大学院健康科学研究科 ④旅行・邦楽 ⑤学生さんと共に、人々の暮らしにかかわる「看護学」に向き合い、探求しつづけていきたいと思ひます。



大学院・看護学部 准教授 **安川 揚子**  
①老年看護学 ②千葉県 ③流通経済大学大学院社会学研究科 ④食べ歩き ⑤貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



看護学部 准教授 **朴 相俊**  
①基盤（情報処理・解析、健康管理・生活運動習慣に関する科目）②韓国・広州広域市 ③東京大学大学院教育学研究科 ④ソフトテニス、人間観察 ⑤人生の豊かさに必要な「楽しさ」と「価値」を常に求め続けています。生きるプロになりたい!



看護学部 助教 **関本 真奈美**  
①地域看護学（在宅看護）②千葉県 ③聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科 ④音楽鑑賞 ⑤保健師を目指している学生さん、訪問看護に興味のある方一緒にお話ししましょう。



看護学部 助教 **小野 美香子**  
①老年看護学 ②茨城県 ③茨城県立医療大学院保健医療科学研究科 ④野球観戦（主にパ・リーグ） ⑤皆さんと共に学び、成長していけるように、日々精進!



看護学部 助手 **篠崎 一栄**  
①精神看護学 ②千葉県 ③千葉大学医学部付属看護学校 信州大学医療技術短期大学助産専攻科 ④自然観察、山登り ⑤信州に憧れて移住してきました。定年後はゆっくりと自然の中で過ごそうと考えています。



看護学部 助手 **森本 彩**  
①基礎総合看護学 ②宮崎県 ③信州大学医療短期大学部 看護学科 ④旅行、山登り ⑤8年ぶりに長野県に戻り、とても星がキレイで感動している日々です。看護について初心に返り、学生と一緒に考え学んで行きたいと思ひます。



信州短期大学部 准教授 **永野 淳子**  
①介護領域 ②東京都 ③東洋大学大学院社会学研究科 ④手芸（かぎ針編み） ⑤家族介護について研究をしています。佐久地域のお役に立てればと思ひています。



信州短期大学部 講師・カウンセラー **倉田 郁也**  
①心理学、人間と社会 ②神奈川県 ③桜美林大学大学院心理学研究科 ④将棋、武道 ⑤爽やかに・鮮やかに生きたいと、悪戦苦闘中です。至らぬ私に、ご指導をお願いします。

## 映画「ケアニン～あなたでよかった～」 上映会開催



平成28年度に本学で開催した「第6回信州介護学研究会」でご講演頂きました、加藤忠相氏が代表取締役を務める「株式会社あおいけあ」をモデルにした映画「ケアニン」の上映会を2月20日(火)に開催しました。今回の上映会は福祉学科の学生を中心に、教職員、介護実習先施設の方を対象に行いました。

上映後、学生たちからは「泣きそうになった」「3回泣いた」「泣きっぱなしだった」という声や、「映画のような施設で働きたい、なれば創りたい」という声も聞かれました。ほとんどの学生が「介護にやりがいを感じた」との感想を述べ、映画をきっかけに介護に携わる専門職としての誇りと意欲を持ってくれました。

## 平成29年度 国家試験受験報告

(新卒者)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第107回看護師	82名	82名	100.0%	96.3%
第104回保健師	24名	17名	70.8%	85.6%
第101回助産師	14名	14名	100.0%	99.4%
第30回介護福祉士	20名	16名	80.0%	70.8%

看護師および助産師は、受験した全員が合格を手に入れました。100%というのは、期待どおりとはいえ、やはり嬉しいものです。合格者の「大学からみっちりフォローを受け、余裕で合格しました」という声もありました。

看護学部国家試験対策部会は今年度も、1年次生から4年次生の全学生を対象として、学生の学修意欲の継続ができるような取り組みを考えています。早期の情報提供、部会独自の模試分析を行い、個々の学生が学修目標を設定・評価できるようにしていきます。

短期大学部では初めての介護福祉士国家試験に臨みました。全国平均合格率を上回る結果となりました。今年度は全員合格を目指します。

卒業生・修了生  
学生生活を振り返って



大学院看護学研究科  
齋藤 順子

大学院では看護管理や国際看護など多分野の授業を受け、多くの文献に巡り合い学びを深めました。働きながらの通学のため、長期履修制度を利用して3年間大学院に通学しました。苦労もありましたが、それ以上に自分の成長を感じ、充実していた大学院生活でした。



看護学部  
渡邊 華奈多

沢山泣き、笑い、自分自身と向きあった4年間でした。どんな時も側で支えて下さった先生方、家族、そして切磋琢磨し合った大切な仲間へ感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、大学での経験と学び、誇りを自分の軸に、看護師として笑顔で頑張っていきたいと思えます。



別科助産専攻  
岡部 咲由美

前期は数多の課題に取り組み、夏休みには毎日分娩助産の練習をし、9月からの実習では、命の誕生に関わる喜びと自分の未熟さに涙することもありました。国家試験に向け励まし合いながら勉強しました。すべて仲間がいたから乗り越えられたと心から思う1年でした。



信州短期大学部  
更級 真夢

短大の2年間では悩むこともありましたが、無事に卒業を迎えられてうれしく思います。印象深いのは、実習で担当した利用者の方が、数か月後に会ったときに名前を覚えてくれたことです。卒業後は、利用者の方とよい関係が築ける介護職者になりたいと思えます。



退職者紹介

別科長 清水久美子

50年弱看護助産師免許を活かされ生業を全うする事が出来ました。看護学校からJA一筋、現場第一の私を、最後の5年数か月、学生養成現場に導いて下さった榎山前理事長様感謝です。今後は地域ボランティアを心掛けます。

看護学部教授 宮崎紀枝

看護教育にビジョンを持って佐久大学の開学と同時に着任し10年間走り続けてきました。私の得た宝は、地域の保健師さんたちと親しくなったこと、そして大学で同じビジョンで頑張っている同僚と出会ったことです。このつながりを大切にして無謀なチャレンジをしてみます。今後とも応援をお願いします。

看護学部准教授 田中高政

まだ5号館が鉄骨の骨組だった頃、4号館の理事長室で採用面接を受けました。後日、榎山理事長から「田中君は佐久大学で私が始めて面接した教員だった。先生たちが集まってくれるかどうかとても不安だったとき、あれは本当に嬉しかった」と言われたことを思い出しています。

看護学部講師 浅野 均

六年間大変お世話になりました。皆様の温かいご指導のおかげで、充実した日々を過ごすことができましたこと感謝しております。心優しい学生が臨床でご活躍されることを期待すると共に、佐久大学の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

看護学部助教 梅崎かおり

4年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。先生方だけでなく職員や学生の皆さんからもたくさんのお話をさせて頂き、密度の濃い充実した時間となりました。佐久大学で学んだことを糧とし、今後も精進したいと思えます。

看護学部助教 征矢野文恵

院生の2年間を経て教職員として迎え入れて頂いた事、そして研究を通して自己研鑽の場を持ち続けることの大切さを学ばせて頂きました事に感謝です。今後は智の英知である大学と福祉現場の連携を通して、看護の協働とケアの質の向上に向け努力する所存です。



看護学部助教 横関祐子

1年間という大変短い間でしたが、お世話になりました。諸先生方、学生さんから多くのことを学ばせていただきました。今後の佐久大学の発展をお祈りいたします。

看護学部助手 大和田由希

2年間という短い間でしたが、皆様には本当にお世話になりました。教育に携わることは初めてでご迷惑をおかけしてしまいました。ありがとうございました。学んだことを活かし、また臨床で頑張りたいと思えます。

短期大学部教授 金高茂昭

宇宙の歴史約137億年からすると、約10年間という非常に短い時間でしたが、数多くの意義深い経験をさせて頂きました。真に学生さん、諸先生方、事務局の方々、理事の方々のおかげです。これからも学び舎佐久学園のために微力を尽くして行きたたく存じます。

短期大学部助教 伊藤希久美

多くの方に支えて頂きながら、本当に貴重な経験をさせて頂きました。併せて、多くの出会いに感謝致しております。有難うございました。退職はいたしますが、4月より、また違う形でお世話になります。今後とも宜しくお願い致します。

佐久学園での教育にご尽力いただきました。ありがとうございました。

本領域は、病気の有無にかかわらず、子ども(生まれたばかりの新生児から高校生くらいまで)と、その家族が健康に生活できるための援助について学修します。

2年次後期の小児看護学概論で、子どもの成長発達過程を学びます。また、子どもとはどのような存在か、子どもを取り巻く複雑な社会環境が子どもの基本的日常生活習慣に与える影響についてグループワークを行ない、その成果を共有します。

3年次前期は、子どもの入院や外来受診時に子どもと家族に必要な援助を検討し、看護計画を立て、子どもと家族に対しての援助方法をグループで考え、全体で学びを共有します。また、後期から始まる小児看護学実習のために必要な看護技術を学びます。子どもに接した経験が少なくなっているため、子どもが外来を受診した時に看護師はどのような情報を得て子どもや家族の持つ課題を見出し、具体的にどう行動するのか、シミュレーションをして考えます。真剣にそして楽しく学んでいます。

シリーズ領域紹介④  
**小児看護学**



「小児看護援助論:プレパレーションを検討する」授業風景



羽田空港、出発します。

## 台湾医療保健福祉スタディーツアー

3月6日(火)～10日(金)

佐久大学初の台湾研修。異なる町並み、空気、食事、そして医療や介護現場を体験し、それぞれが様々な思いと期待を胸に研修に挑み、異文化のなかで学習したものはきっと人生で忘れられない思い出になったと思います。人とつながる喜びや新しい仲間ができたこともきっと学生のこれからの大きな糧になるでしょう。

参加学生の声



短期大学部2年  
**渡辺陽香**

海外への憧れと中国語を履修して台湾に興味を持っていたことから参加しました。

ずっと佐久市から出たくないと考えていた私にとって、このツアーは自分の道を揺らがせる刺激的なものになりました。



台北護理健康大学の教室見学



台北護理健康大学「経管栄養に対する考え」交流

## Voice of Graduates 卒業生の声 No.4



社会医療法人財団慈泉会  
相澤病院 看護支援部門  
介護課 介護福祉士

**望月 沙代さん**

信州短期大学  
介護福祉学科  
平成23年度卒業

**Q1 現在の仕事内容**

**A1** 年数が経つにつれ、任せて頂く業務内容が増え、共に働くメンバーをまとめる責務を担わせて頂く機会も増えました。

現在は、入院している患者様の身体介助をしたり、入院に伴い活動する機会が少ないことによる廃用や、身体機能低下、認知機能低下等の予防に繋げるための離床支援、又病前と入院中とでADLに変化があり、退院後、ご本人様自身が抱える不安や、ご家族様にかかる介護負担が大きいと考えられるケースに対し、入院期間中観察をし、その様子から介護士視点からの提案や情報提供をし、少しでも快適な退院後の生活を送れるような援助をさせて頂いています。

**Q2 仕事でうれしいこと**

**A2** スタッフが多く働く現場、且つ決められた期間内での入院中の中で、わたしのことを覚えて下さり、名前前で呼んで下さったり、患者様から話しかけて下さったり、「いつもありがとう」「あなたにお手伝いしてもらえて良かった」等のお言葉を頂いたときはとても嬉しかったです。

**Q3 短大で学んで役に立っていること**

**A3** 様々な施設を訪ね様々な利用者様と関わらせて頂いたことによる患者様とのコミュニケーションの取り方は本当に多く学ばさせて頂き、いまでも「この場面ではこうかな」と短大時代のことを思い出しながら仕事することもあります。

**Q4 短大時代の一番の思い出**

**A4** 女子バレーボール部マネージャーとして日々活動し、チームのみんなと勝敗を共有し、たくさん笑い泣いたことが一番の思い出です。

**Q5 今の学生にアドバイスするとしたら?**

**A5** 本当に自分は将来現場で働くことが出来るのかと不安になることもいっぱいあると思います。わたしもそうでした。そんなときは同じ夢に向かって進む仲間や先生方に相談したり、自分がいま一番楽しいと思えることをすることで気持ちも楽になり、また違った思考で取り組めると思っています。

**Q6 今後の仕事の目標**

**A6** 入院中は不安と葛藤する日が続くと思います。1人でも多くの患者様が入院期間を安心して過ごせるような援助をもっともっとしていきたいです。

## 2/9 佐久市男女共同参画推進事業者表彰式

本学園が「佐久市男女共同参画推進事業者」として表彰されました。



## 2/16 災害時の福祉避難所指定に関する協定締結

災害発生時に、妊婦の方や介護を必要とされる方が利用できる福祉避難所として本学が指定されました。



## 2/17 国家試験出発

看護師・保健師国家試験受験のため、看護学部4年生が東京へ出発しました。



## 2/19 長野県内初の指定研修機関に指定



保健師助産師看護師法に基づく「特定行為に係る看護師の研修制度」の指定研修機関として、平成30年2月19日付で厚生労働大臣から指定されました。

## 2/21 卒業前研修

卒業を控えた短期大学部2年生がフットケアとエンゼルメイクの研修を受けました。



## 2/23 森口エミリオ秀幸先生の特別講義

ブラジル南部で日系移民1世のために巡回診療に取り組んでいる森口エミリオ秀幸先生をお迎えし本学で特別講義を行いました。



## 12/11~15 授業公開

教育方法の改善や教育の質の向上を図ることを目的に、短期大学部一部の授業を公開しました。

## 1/19-20 タイでヘルスフェスティバル開催

本学と佐久市が進めるサンスク町の包括的高齢者ケア普及事業の一環として、現地でヘルスフェスティバルを開催しました。本学からは堀内学長と東田教授が参加しました。



## 2/1 冬季国体において本学学生が活躍

第73回国体冬季大会スケート競技で、本学スケート部、山浦美和子さんが活躍し、長野県は天皇杯(男女総合)・皇后杯(女子総合)で3年連続の同時優勝を果たしました。



## 2/5 台湾介護研修プログラム

連携協定を結んでいるアジアンワイスから6名が介護研修生として訪れ、本学と地域施設で研修を行いました。



## 11/6 立誓式

短期大学部1年生が、第1段階実習の前に、誓いの詞を唱和し、2週間の実習に臨みました。



## 11/10 大学見学

短期大学部と連携協定を結んでいる、丸子修学館高等学校の1年生9名が、本学を見学しました。



## 11/18 ミニ公開講座

小野澤清子氏と本学の宮原講師による「足の健康：自分でできる足のトリートメント」をテーマとした講座を行いました。



## 11/26 公開講演会

産業技術総合研究所の柴田氏を講師に迎え「アザラシ型ロボットによる認知症ケアと介護予防」と題した講演会を開催しました。



## 12/1 看護学研究発表会

看護学部4年生が、4年間の学びの集大成となる看護学研究論文を発表しました。



## 4/6 4/9 新入生歓迎会

看護学部、短期大学部それぞれ、在学生による新入生歓迎のイベントを行いました。



## 4/4 4/6 入学式

4/4(水)短期大学部、4/6(金)には大学院・看護学部・別科助産専攻の入学式をおこないました。



## 3/10 佐久市民の日協賛イベント

“足からの健康”をテーマに、佐久市民の日協賛イベント「健康フェスティバル」へ参加しました。



## 3/15 国際ソロプチミスト佐久の「クラブ賞」受賞

看護学部2年生の関沢理水さんが、国際ソロプチミスト佐久の「クラブ賞」を受賞しました。



## 3/15 3/17 卒業式・修了式

3/15(木)には短期大学部福祉学科、3/17日(土)に看護学部看護学科、大学院看護学研究科、別科助産専攻の卒業式・修了式を挙行了しました。



## 『アルフォンス・デーケン死への準備教育 日本人にとって“死”とは何か』出版

本学看護学部助教の横間祐子先生※が、自身の修士論文を基に「死への準備教育」を提唱したアルフォンス・デーケン氏の功績をまとめた本を出版しました。

※2018年3月まで本学に在籍。



## 平成30年度 講座・研修等のお知らせ

詳細は本学ホームページでご確認ください  
佐久大学ホームページ <http://www.saku.ac.jp>

## 教員免許状更新講習

申込期限:平成30年5月16日(水)~6月22日(金) 【受付終了】  
講習期間:平成30年7月28日(土)~9月9日(日)

## 喀痰吸引等研修

申込期限:平成30年6月11日(月)~29日(金) 【受付終了】

## 看護師特定行為研修指導者講習会

申込期限:8月31日(金) (※定員に達し次第締切)

## 看護学部教育研修

- ①臨地実習指導者研修セミナー ..... 開催日:8月6日(月)~8日(水)  
②指導者カンファレンス ..... 開催日:12月1日(土)  
申込期限:平成30年7月24日(火)

## 佐久大学公開講座

全4回を予定  
※詳細は決まり次第本学ホームページに掲載いたします

## 信州短期大学部公開講座

- 楽しい English Conversation (初級)全8回 【受付終了】
- 楽しい English Conversation (中級)全8回 【受付終了】
- 心理学講座(入門編)全3回 【受付終了】

## 第7回信州介護学研究会

「介護のあすにむかって」  
8月25日(土) 第I部 講演会 第II部 体験発表  
※詳細は決まり次第本学ホームページに掲載いたします

## 平成30年度 後援会総会について

佐久大学信州短期大学部 4/4(水)、佐久大学 4/6(金)に定期総会を開催し、下記議案について承認がなされました。

平成29年度事業報告及び収支決算報告  
平成30年度事業計画及び収支予算  
平成30年度役員選任

### ■平成30年度 役員

#### 佐久大学 後援会

会長/大井芳知 副会長/市川英治  
理事/上原明生、岡部政也、有賀光恵、塚田和美  
監事/荻原美喜子、神津 勝

#### 佐久大学信州短期大学部 後援会

会長/小柳治美 副会長/渡辺まり子  
監事/高野寿枝、渡辺博行

## 平成29年度進路一覧

### 看護学部看護学科

(順不同)

【就職】北信総合病院/長野松代総合病院/篠ノ井総合病院/新町病院/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/浅間南麓こもろ医療センター/佐久総合病院/北アルプス医療センターあづみ病院/富士見高原病院/下伊那厚生病院/信州上田医療センター/小諸高原病院/まつもと医療センター/東長野病院/長野県立こども病院/市立大町総合病院/松本市立病院/岡谷市民病院/飯田市立病院/伊那中央病院/長野中央病院/飯山赤十字病院/千曲荘病院/相澤病院/信州大学医学部附属病院/国立がん研究センター中央病院/東京共済病院/順天堂大学医学部附属練馬病院/東邦大学医療センター大森病院/昭和大学病院/初台リハビリテーション病院/東京都健康長寿医療センター/武蔵野赤十字病院/三栄病院/がん研有明病院/イムス三芳総合病院/東京女子医科大学八千代医療センター/昭和大学藤が丘病院/横浜南共済病院/鶴巻温泉病院/川崎市立井田病院/新潟病院/済生会新潟第二病院/山梨厚生病院/日下部記念病院/山梨県立中央病院/静岡市立静岡病院

【進学】佐久大学別科助産専攻

### 別科助産専攻

【就職】北信総合病院/篠ノ井総合病院/浅間南麓こもろ医療センター/佐久医療センター/信州上田医療センター/浅間総合病院/東京都立墨東病院/東京慈恵会医科大学附属病院/千葉大学医学部附属病院/新潟県済生会三条病院/甲府共立病院/山梨県立中央病院/黒部市民病院

### 信州短期大学部福祉学科

【就職】恵仁会/佐久療護園/佐久平愛の郷/さくほ愛の郷/ケアポートみまき/敬老園/ハートフルケアたてしな/白田共同作業センター/シルバーランドさきの/あさぎりの郷/うすだコスモ苑/こうみの里/ローマンうえだ/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/長野広域連合/いこい/エフビー介護サービス/ケアホームかたくり/㈱あさひ

「佐久の薫風」も8号の発行となりました。創刊から携わり、学内外の皆さまに佐久学園の様子や取り組み等をお知らせしてきました。

長野県内にも看護学部の新設が予定され、看護師を目指す高校生の選択肢が増えます。佐久学園は、その中で多くの若者に選ばれる魅力ある大学であるために様々な取り組みを進めています。本誌ではこれからもその情報を発信していきます。ご期待ください。

(飯島)



## 「足育」ロゴ決定

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択された『健康長寿く佐久』を牽引する「足育(あしいく)」研究プロジェクト』のロゴマークが、学生投票により決定しました。

### フットダーツ

佐久学園が取り組む足育の啓発や、フットプリントの採取などを行うイベントで、来場者に待ち時間を楽しく過ごして頂くために、フットダーツを購入しました。

足育パンフレットや大学案内の配布とセットで、文化祭等学外の各種イベントに出張します。ダーツの大きさは約3.5m(写真)です。興味をお持ちの方は下記へお問い合わせください。



お問い合わせ 佐久学園総務課 TEL.0267-68-6680

八十二「地方創生応援私募債」(八十二銀行)にかかる寄贈として、株式会社平元商店様よりブルーレイレコーダーを本学園にご寄贈いただきました。



寄贈

## 2018オープンキャンパス

### 佐久大学

7月16日(月祝)  
看護学を知ろう!

8月11日(土祝)  
佐久の地域医療を知ろう!

時間 13:30~16:00



模擬授業や体験から佐久大学を感じてください

### 信州短期大学部

7月21日(土)

8月6日(月)

8月11日(土祝)

9月29日(土)

時間 9:30~12:00

全日程予約不要



短大での学びを通じて福祉の世界に触れてみてください。開催時間中は入退場自由です。

お気軽にお越しください

※佐久平駅からの無料送迎バスあり

詳細は本学ホームページでご確認ください。

<http://www.saku.ac.jp/opencampus/>